

トルコの文化財を震災から守るために

トルコ文化観光省職員等 9 名が正倉院、興福寺、奥村記念館を訪問

トルコは地震リスクの高い国の一つであり、国内主要都市の多くが北部断層沿いに位置していることから、国家開発計画においても将来の地震被害軽減が重要な課題となっています。また観光が国の経済を支える重要な収入源となっているものの、歴史的に重要な文化財やそれらを収蔵する博物館に対する防災対策は十分といえず、災害発生時の被害とその後の経済への影響が懸念されています。

このような背景のもと、国際協力機構(JICA)はトルコの文化観光省や博物館職員等 9 名を招き、国別研修「博物館及び文化財の自然災害からの保護に係る能力開発」を 2 月 13 日から 3 月 1 日の間で実施し、防災対策(博物館及び文化遺産の開発、保護、修復技術等)を紹介します。

2 月 25 日(月)は奈良市を訪問し、国宝や世界遺産の防災対策について学びます。研修員は以下の日程で各所を訪問し、現地視察や関係者とのトルコの経験についての意見交換を行います。

【取材可能な研修日程：2月25日(月)】

時間	内容	場所	住所
9:30-11:00	(講義・見学) 国宝や重要文化財における防災対策と保存方法 ◎正倉院事務所内での見学の様子、講義の様子の写真撮影は可。	正倉院	〒630-8211 奈良県奈良市雑司町
13:30-14:15	(見学) 文化財への免震対策 ◎隣立の奈良国立博物館内も見学しますが、同館は閉館日のため取材不可。	奥村記念館	〒630-8212 奈良県奈良市春日野町 4
15:15-16:15	(見学) 興福寺を防災の観点から見学	興福寺	〒630-8213 奈良県奈良市登大路町 4 8

※トルコ語⇄日本語の通訳が可能です。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第 1 課 立花

TEL 078-261-0386 e-mail : Tachibana.Shizuka@jica.go.jp